

第5章 おわりに

本研究では，国立特殊教育総合研究所において効果的な情報発信を行うために，各都道府県の特教育センターが公開している Web ページの内容について調査を行った．その結果，全国の教育センターの Web ページで公開されている情報がどのようなカテゴリの内容であるのか判明した．多くのセンターで発信されている情報は，ニーズが高く，かつ，プライバシーの問題等をクリアしていると考えられる．したがって，国立特殊教育総合研究所の Web ページを構築する際にどのようなカテゴリの情報を発信すべきなのかを判断する参考になると考えられる．

研究協力者を中心にメーリングリスト“web@nise.quickml.com”を開設し，インターネットと教育現場に関する話題について議論を行った．これまでの課題では，協議が研究協議会の時だけになってしまうこともあったが，メーリングリストを活用することにより，研究協議会開催までの期間に十分に調査の内容を研究協力者と共有することができた．本メーリングリストは研究課題完結後も継続して機能を維持する予定である．

また，インターネット関連の新しい技術が次々に登場しつつあり，より効果的な情報発信が可能になる反面，アクセシビリティの問題が新たに発生している．Web ページは，障害のある人も含めてすべての人が閲覧できるように配慮されている必要があるが，現状で国立特殊教育総合研究所や教育センターの Web ページがアクセシビリティに十分配慮されているとは言い難い．本研究課題では，「アクセシビリティに配慮した Web サイト構築のための五ヵ条」を決定して名刺大のカードに印刷し，これまでに約 300 枚を配布し，好評を得ている．Web のアクセシビリティについての検討は，ますます重要になる今後の課題といえる．